



株式会社 SIM-Drive  
ダッソー・システムズ株式会社

## SIM-Drive とダッソー・システムズ、 電気自動車の先行開発車事業で長期提携契約を締結

東京 — 2011年9月12日 — 株式会社 SIM-Drive(本社: 神奈川県川崎市、代表取締役社長: 清水 浩、以下、「SIM-Drive」)とダッソー・システムズ株式会社(本社: 東京都港区、代表取締役社長: 末次 朝彦、以下、ダッソー・システムズ)は、本日、SIM-Drive が開発を進めている電気自動車の先行開発車事業において、長期提携契約を締結したことを発表しました。

今回の提携により、SIM-Drive は「環境に優しい自動車の開発・提供を通じて、子供と家族の生きていく未来の世界を良くする」というビジョンの実現に向けて、ダッソー・システムズが提供する持続可能な技術革新を実現するバージョン 6 を活用、電気自動車の先行開発車事業を推進します。ダッソー・システムズは技術面から SIM-Drive の電気自動車の開発事業を長期的に支援します。

SIM-Drive は 2009 年 8 月、同社代表取締役社長の清水 浩が過去 30 年にわたって培ってきた電気自動車技術をオープンソース手法により、世界に広く、早く普及させることを目的として設立されました。同社は電気自動車の最終製品を生産販売するのではなく、インホイールモーター技術とコンポーネントビルトイン式フレーム技術の組み合わせ技術の普及を目的としています。電気自動車の普及を軸に環境負荷の低い交通インフラの確立を目指しており、現在推進している、先行開発車事業第 2 号では 2012 年 2 月の試作車完成、2014 年頃の大量生産開始を目指しています。

今回、SIM-Drive が活用するバージョン 6 は、コラボレーティブな設計環境を提供します。そのため、SIM-Drive 先行開発車事業に参加する各協力企業の担当者は、遠隔地にいながらにして、データへのアクセスや、開発への参加、進捗状況の確認が可能となります。さらに、開発者同士で設計図面を見ながらのコミュニケーションを図れるため、より迅速、かつ効率的に開発事業を進めることができます。

ダッソー・システムズのバージョン 6 には、世界の自動車業界における 3D CAD ソフトウェアのデファクト スタンダードである CATIA が含まれます。インダストリアル・デザインや設計から、機構、設備、システム・エンジニアリングなどの領域に至るまで、製品を定義するあらゆる分野で高品質のモデリングおよびシミュレーション技術を提供します。また、設計プロセス段階で高度なリアリステックシミュレーションにより製品性能を

検証する SIMULIA のソリューションと組み合わせることで、製品の設計期間の短縮、コスト削減を可能にします。

当該プロジェクトの協力企業間で共有される知的財産は、ダッソー・システムズの ENOVIA 上で一元的に管理されます。どこからでも安全に単一のデータにアクセスし、アイデアを効率的に共有しながら開発事業を進めることが可能になります。その後、これらの製品設計データをベースに、生産システムを 3D で検証、最適化するデジタル・マニュファクチャリング・ソフトウェアの DELMIA を活用することで、工場での組み立て工程を効率的に決定し、早期に量産体制を整えることが可能になります。

株式会社 SIM-Drive の代表取締役社長、清水 浩は次のように述べています。「私どもが行っている先行開発車事業では、参加企業様との設計データを介したコミュニケーションが極めて重要です。ダッソー・システムズのバージョン 6 はこうした目的に欠くことのできないツールです。今後、バージョン 6 を使って多くの技術成果を生み、参加企業の皆様との緊密なコミュニケーションを図ることができるようになることを期待しています。さらに、2013 年 3 月の完成を目指し、来年 2 月に先行開発車事業第 3 号を立ち上げる計画です。バージョン 6 は先行開発車事業第 2 号に続いて、第 3 号プロジェクトでもその重要性をますます高め、開発事業に貢献してくれるものと期待しています。」

ダッソー・システムズの代表取締役社長、末次 朝彦は次のように述べています。「この度、電気自動車の開発において素晴らしいビジョンを持つ SIM-Drive 様と長期的なパートナーシップを結ぶことができ、非常にうれしく思います。ダッソー・システムズでは、3 次元によるライフライク・エクスペリエンスを通じて、企業や組織における持続可能な技術革新をサポートしており、SIM-Drive 様が取り組んでいる電気自動車開発事業、およびその開発形態は、当社が目指すものとまさに合致しており、SIM-Drive 様のビジョンが早期に達成できるように支援していきたいと考えています。」

(以上)

### 株式会社 SIM-Drive について

SIM-Drive の目的は、「自ら電気自動車製造をするのではなく、最高の電気自動車技術とその情報を最小の費用で電気自動車に関連するすべての企業、機関に提供すること」にあります。企業としての理念と責任を元に、世界中での電気自動車の普及を目指しています。

会社名:	株式会社 SIM-Drive(株式会社シムドライブ)
設立:	2009 年 8 月
代表取締役社長:	清水 浩(慶應義塾大学環境情報学部教授)
事業内容:	電気自動車の研究及び開発 電気自動車用インホイールモーターその他電気自動車用部品の研究及び開発 電気自動車の開発に関するコンサルティング 電気自動車基盤製造サポート事業

その他詳細については次のサイトをご覧ください。

URL: <http://www.sim-drive.com/english/index.html> (英語)、 <http://www.sim-drive.com> (日本語)

## ダッソー・システムズについて

ダッソー・システムズは、3DとPLMソリューションにおけるワールド・リーダーとして、80カ国以上、130,000以上のお客様にそのバリューを提供しています。1981年から3Dソフトウェア市場におけるパイオニアであるダッソー・システムズは、業界プロセスを支援するPLMアプリケーション・ソフトウェアおよびサービスを開発・販売し、コンセプト設計からメンテナンス、リサイクルに至る全製品ライフサイクルにおける3Dビジョンを提供します。提供内容は、バーチャル製品設計のためのCATIA、バーチャル・プロダクションのためのDELMIA、バーチャル・テストのためのSIMULIA、グローバルなコラボレーティブ・ライフサイクル・マネジメントのENOVIA、検索アプリケーションのEXALEAD、3Dメカニカル設計のためのSolidWorks、オンライン3Dライフライク・エクスペリエンスの3DVIAが含まれます。その他詳細については次のサイトをご覧ください。

URL: <http://www.3ds.com> (英語)、 <http://www.3ds.com/jp> (日本語)

CATIA、DELMIA、ENOVIA、EXALEAD、SIMULIA、SolidWorks、および3DVIAは、ダッソー・システムズ(Dassault Systèmes)もしくはダッソー・システムズの子会社の米国およびその他の国における登録商標です。

## 報道関係者お問合せ先:

株式会社 SIM-Drive

企画部

担当: 藁谷(わらがい) / 片山

E-mail: [contact@sim-drive.com](mailto:contact@sim-drive.com)

TEL: 044-201-1014 / FAX: 044-599-6444

ダッソー・システムズ株式会社 広報代理

ホフマンジャパン株式会社

担当: 安藤 / 高濱

E-mail: [mando@hoffman.com](mailto:mando@hoffman.com) / [mtakahama@hoffman.com](mailto:mtakahama@hoffman.com)

TEL: 03-5159-2145 / FAX: 03-5159-2166